

平成28年度における剰余金の概要

I. 損益計算書等における利益（剰余金）

◎損益計算書の概要	(単位：百万円)
経常費用	2,262
経常収益	2,301
経常利益	39
(＝経常収益－経常費用)	
臨時損失	△1
前中期目標期間繰越積立金取崩額	1
当期総利益	39

II. 平成28年度決算における剰余金（39百万円）の主な要因

(1) 経営努力による剰余金（⇒目的積立金として知事の承認を受けようとするもの）【22百万円】

① 外部研究資金等の獲得努力と併せて経費の節減に努めたもの……………13百万円

- ◆外部資金に係る収支差（2,643千円）
- ◆畜産物等の売り払い収入が計画を上回った分（1,243千円）
- ◆間接経費の獲得努力（8,910千円）

② 業務運営体制の強化等を図り、人件費の節減に努めたもの……………9百万円

- ▶ 効率的な業務運営を図り、時間外手当の大幅な縮減（対前年度比12%縮減）
及び非常勤職員等の活用など、人件費の節減に努めたもの

- ◆時間外手当の縮減（5,666千円）
- ◆非常勤職員等の活用（3,600千円）

(2) その他の剰余金（⇒積立金とするもの）

【17百万円】

① 会計上の剰余金で現金の裏付けのないもの……………3百万円

② 予算執行残額や雑収入等……………14百万円

III. 利益処分（案）について

当期総利益 39百万円

22百万円 ⇒ 知事の承認を受け「目的積立金」に積み立て

17百万円 ⇒ 「積立金」として積み立て